

新発田駐屯地援護室

TOPIC

4月24日（水）「令和6年度任期制隊員ライフプラン集合訓練」を行いました。

この集合訓練は、入隊2年目の任期制隊員を対象に、「自らの意志による人生設計を確立させること」を目的に毎年行っているものです。訓練には、駐屯地所属の該当隊員 合計14名と、部隊長等5名が参加しました。



【援護室長による訓練説明の様子】

訓練は、援護課長の「受講の心構え」に続き、援護室長が「ライフプランの意義」、「任期制隊員の進路」、再就職に必要な知識・技能の修得を目的とする「部外技能訓練・通信教育の概要」や「県内雇用情勢」「自衛隊援護組織活用の有用性」を説明しました。



【「予備自衛官制度等を含めた人生設計及び有意義な時間を。」と述べる援護課長】

また、予備自衛官室長が「予備自衛官・即応予備自衛官制度の概要」「志願することの意義」等の教育や説明を行いました。この際、民間企業就職後の初任給や生活費を例に挙げて、副収入が得られることや、大学進学時の補助金制度を説明し、人生設計のツールとしてPRしました。



【予備自衛官室長による制度説明】



【真剣な面持ちでワークシートに臨む隊員】

午後からは、(株)学宣より派遣していただいた講師から、「ライフプラン作成」を行っていただきました。「客観的に自分を考えることが苦手な人は多く、事故を理解することが必要で最後は人間性が問われる。本訓練できっかけを作り後で振り返ってほしい。」とお話し頂きました。

訓練後の隊員から「ライフプランを見直す良い機会でした。」「陸曹を目指しているが、なれなかったら援護室を活用しようと考えています。」「わかりやすい訓練で、2任期やってみて今後の事を考えていきたいです。」「予備自衛官及び即応予備自衛官制度の違いがよくわからなかったが、教育を受けて理解できた。」などの感想が多くあり本訓練の成果が得られました。

令和6年4月1日から、新発田駐屯地援護室援護係として臨時勤務した30普連2中の萬代2曹です。主に任期制退職予定隊員を担当し、親身で適切な援助を心がけたいと思います。

